

## ■平成28年8月3日 文教くらし委員会県内調査

### 1 平群町立平群小学校（生駒郡平群町）

【調査目的】読書活動の推進に関する取組について

【調査概要】平群町の学校図書館活性化についての説明を受け質疑の後、図書室を見学。

#### <平群町の学校図書館活性化に関する取組の概要>

- ・平群町では、学校図書館の活性化については、子ども読書活動の推進の一環として、地域、学校、家庭、公立図書館が一体となって、環境づくりを進めてきた。
- ・平成20年度から子ども読書活動推進計画の策定作業をスタートした。
- ・平成23年度、「住民生活に光を注ぐ交付金」を活用し、町立図書館の電算システムを整備。学校図書館を公共図書館の分館のような形でおき、蔵書の一体化を図った。
- ・本が揃ってきても、本と子ども達をつなぐ、子どもの中で本が生きていくためには、人の存在が一番大事であることから、平成24年度、緊急雇用創出事業を活用し、北小学校に、町立図書館の職員を派遣するという形で、専任司書を配置。同時に、中学校でも、放課後開館支援、授業支援を行うため、町立図書館から司書を派遣するという形で充実を図ってきた。
- ・平成24年度末には、子ども読書活動の推進計画の策定作業が終了して、平成25年度から計画が施行され、読書活動、学校図書館支援のしっかりとした裏付けとなる仕組みができた。町立図書館を中心としながら、各図書館の連携、情報交換を図りながら内容の充実を進めてきた。
- ・平成26年度、西小学校と東小学校を統合した平群小学校に専任司書を配置。平成27年度、南小学校に専任司書を配置したことで、町内全小中学校に専任司書を配置。
- ・平成28年度から、新しい図書館システムを導入し、学校図書館と町立図書館の連携の一体化をさらに強化。
- ・児童生徒一人当たりの貸出冊数については、各学校で司書を配置した翌年度から大きく伸びている。

#### <質疑応答>

Q：学校司書を配置する以前の状況、将来的な見通しはどうか？

A：以前は図書委員の児童が昼休みなど時間限定で貸出をしていたが、図書館をもっと利用させたいという地域の方やPTAからの要望があった。現在、学校司書を常設化している市町村は平群町のみである。予算的には町の単費で配置している。財政的に厳しい状況ではあるが、効果的な事業であるので、継続していきたいと考えている。



## 2 明神山（北葛城郡王寺町）

【調査目的】奈良県植栽計画（「なら四季彩の庭」づくり）による整備について

【調査概要】奈良県植栽計画及び明神山山頂の整備状況について説明を受ける。

### <奈良県植栽計画の概要>

- ・植栽計画は、県内の植栽景観を整えることで奈良県が持つ「ほんもの」の魅力を向上させ、次世代に引き継ぐことを目的として、平成25年末に策定された。
- ・県内各地の特徴ある景観を有する一定の地域を小庭（エリア）として、植栽景観を整え、奈良県全体が調和のとれた一つの庭となることを目指す。
- ・エリア数：平成25年度 48 → 平成28年度 54  
着手エリア数：平成25年度 28 → 平成28年度 37
- ・庭づくりを広げていくPR活動のため、シンボルマークを活用。  
シンボルマークは、平成26年度、全国公募により応募数121点の中から宮崎県在住の方の作品に決定。

### <明神山山頂の整備について>

- ・標高：273.6メートル。
- ・山頂からは、奈良県側の大和平野、大和盆地だけでなく、大阪府側の大阪平野、大阪湾まで一望でき、360度のパノラマを楽しむことができる。
- ・江戸時代の記録にも、明神山山頂からの眺望の記載があることから、江戸時代から景観の良い場所として認識されていた。
- ・現在、若者をターゲットに恋人同士で訪れる場として「悠久の鐘」を展望デッキに設置する工事を行っており、平成28年秋頃に完成する予定である。

